



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 26

2023.3.15(No.3149)

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
 会 長／西山 徳芳
 会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／野崎喜一郎
 幹 事／梨 本 次 郎
 S A A／石 黒 良 行
 会 計／五十嵐博宣
 直 前 会 長／歸 山 肇
 会長ノミニ／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:57名中43名
- 先々週出席率:83.93%

【先週のメイクアップ】

[3.11] 会長エレクト研修セミナー
(三条)へ

- ・吉井直樹さん、小林吾郎さん、
- ・松永一義さん、野崎喜一郎さん



会長挨拶

西山徳芳 会長



3月11日にビップでPETS(会長エレクト研修セミナー)が開かれました。

いよいよ吉井年度がスタートを切ります。思い起こせば1年前、同じようにイタリア軒でPETSを受けたことはつい昨日のようです。新年度は三条北RCの米山忠俊さんがガバナーになられます。

久しぶりに三条市からガバナーが輩出されます。

今日はPETSに参加された吉井会長エレクトの報告になります。

来週は休会ですが、新竹城中RCの創立30周年の行事に14名で参加してきます。

また、中村信一会員から病氣療養のため休会の届けが出たことをご報告申し上げますとともに早い快癒を祈ります。

～お茶を引くこと～

江戸時代に売れない女郎がお茶を挽くという言い方があります。実はお茶を挽くという意味は思った以上に大変な作業になります。以前私は、茶壺に入った茶を抹茶に挽いたことがあります。

茶壺というのは童謡の「茶壺に追われて、とっぴんしゃ



2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ

ん」、あの壺のことです。それは江戸時代に、宇治の茶園から、徳川の殿様にお茶葉をお届けする行列のことであります。抹茶や玉露は高級で寒冷紗の下で、直接日光に当たることなく、柔らかい日差しでお茶の葉はえぐみのなく、甘い、かつ深みのあるお茶になります。そのお茶は新しい葉を八十八夜に摘み取り蒸籠で発酵を止め、夏を超すまで成熟し、茶壺に詰めるわけですが、大部分は薄茶であります。壺の上の隙間、1/10ぐらいを空に、選別した良い葉のみ、お濃茶として別に紙に包まれて載っています。さらに、その上にお茶の茶名を書いた、「入り日記」が入っています。それに蓋をし、封印紙で封印して、綺麗な名物裂の口覆いと言う布をかけてあります。網籠に入れ、さらに、壺中に入っているお茶を11月の口切りの茶事に茶臼で挽きます。茶臼は、温度が上がるのを防ぐため石製なのです。きな粉を挽く臼と違って、直径八寸ばかりの小ぶりの石臼で毛ほどの溝が掘ってあります。ここに、よく枯らした茶葉を入れます。抹茶を作るのですが、15分間挽いて1gぐらいしか出ません。抹茶1人分茶碗に1杯はは3gぐらいで、45分は挽かなければなりません。これを早くしたくて、焦って臼を早く回したり、上から、棒でつついて無理に入れるようなことをするとお茶を点てた時に、舌の先がザラザラして、とても飲めたものではありません。静かに回すことで、ちょうど硯で、墨を摺っているような感じですがとても根気がいり、時間のかかる作業です。普通、小間小さな部屋で抹茶を点てる場合、3人のお客様になります。すると9gの抹茶がいるわけですが、これを挽くためにいる時間は、15分の9倍になります。このことから、お客のつかない女郎衆が時間をかけて、お茶を挽くことをさしています。

古い長岡の言い回しで、結婚式の時に仲人が婚側の両親に結婚式の準備をできた時の報告がありますが、この時に、「十分にお茶を挽けた」ので、どうぞお席に着いてください、という言い方があります。婚儀の準備に充分時間をかけて、すり合わせをしたということになります。

実際に石臼を試してみた私は、友人と日がな一日、お茶を挽いてしまいました。

幹事報告

梨本次郎 幹事



◎米山ガバナー事務所より

「会長エレクト研修セミナーの御礼」

◎三条東RCより

「第42回 8クラブ有志ゴルフ大会のご案内」

日 時 6月24日(土)

8:00 OUT/IN同時スタート

場 所 下田城カントリー倶楽部

◎三条ローターアクトクラブより

「3月第二例会のご案内」

日 時 3月23日(木) 19:30~21:00

会 場 燕三条リサーチコア 4階

・異業種交流室

◎三条市青少年育成市民会議より

「第18回 私のメッセージ三条市小学生大会発表集の送付について」

◎次週22日(水)は、祝日の週につき休会です。

お間違えないようお願いいたします。

ニコニコBOX

西山徳芳会長

東京で桜の初、開花を見てきました。いよいよ春です。

吉井会長エレクト、報告ご苦労さまです。

松平隆行さん

私事ですが、4月1日付で転勤となりました。3年間、皆様には大変お世話になり本当にありがとうございました。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

吉井直樹さん

PETS参加して来ました。大変勉強になりました。本日報告させていただきます。

梨本次郎さん

今日はPETSの報告です。いよいよ次年度が動き始めました。あれから一年経ったと思うと感慨深いです。

小林吾郎さん

PETS参加してきました。いよいよです。

松永一義さん

桜も咲きはじめました。野球も絶好調。明日の大谷も楽しみです。
PETS報告、御苦勞様です。

嘉瀬一洋さん

花粉症には辛い季節となりました。根本治療(シダキュア)を行ったのですが、さすがに今年の飛散量は多いようで、辛い日もあります。
吉井さん、楽しみにしています！

菊池 涉さん

冬囲い、松つりが外れ、枝垂れ梅が咲き、いよいよ春彼岸です。そろそろ冬眠から覚めましょう。

渡辺良一さん

3月20日新竹に行ってみります。
PETS報告よろしくお願ひ致します。

野崎喜一郎さん

来週は台湾旅行です。楽しみです。一緒に行かれる方々、宜しくお願ひします。

杉山幸英さん

吉井会長エレクト、PETS参加御苦勞様でした。
報告御苦勞様です。

丸山行彦さん

吉井会員、次年度1年間ご苦勞様です。

明田川賢一さん

吉井会長エレクト、PETSお疲れ様でした。

小出子恵出さん

吉井次期会長に大きなエールを。

野水靖之さん

吉井会長エレクト、先日はPETSへの参加お疲れ様でした。本日のご報告、宜しくお願ひ致します。

山田富義さん

吉井直樹会長エレクト、来年度宜しくお願ひします。

衛藤泰男さん

梅の花がやっと咲き始めました。

中林順一さん、飯塚一樹さん、五十嵐博宣さん、高橋俊樹さん、安達俊明さん、石黒良行さん、長谷川徹さん、松永隆夫さん、柳取崇之さん、石橋育於さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

歸山 肇さん、船越良則さん、落合孝夫さん、小越憲泰さん、五十嵐晋三さん、高橋 司さん、若槻八十彦さん、小林卓哉さん

吉井会長エレクト、本日はPETS報告ありがとうございます。お話楽しみにしております。

3月15日分 ￥ 40,000
今年度累計 ￥ 930,000

《2023-2024年度 地区役員の委嘱状》

・地区大会副実行委員長 若槻八十彦 会員

「PETS報告」



吉井直樹 会長エレクト

PETS参加報告をさせていただきます。

3月11日(土)ビップにて、2023-2024年度PETSが開催されました。

PETSすなわちPresidents-Elect Training Seminarです。三条RCには会長経験者の先輩方も大勢い

らっしゃいますので、当時のことを思い出しながら、本日の報告を聞いていただければ幸いです。

ご存じの通り2023-2024年度は第四分区、三条北RCより米山ガバナーが選出される年です。米山ガバナーをご存じの方も多いと思います。

PETSで重要なのはRI会長ゴードンR.マッキナリー氏のテーマと方針、考え方を学び、それを受けた米山ガバナーの地区テーマ並びに方針を学ぶこと、また地区運営方針を理解することです。

そこで、本日はその報告として、PETSに寄せられた文章を読み上げてみたいと思います。

また、一読しただけではなかなか理解できませんので、その文章を配布させていただきますので、是非再度ゆっくりご確認ください。

地区組織表も配布させていただきましたが、左側に新しい委員会ができています。

これは本年度高橋ガバナーの強い思いで組織され、高橋年度で準備委員会を設立し、米山年度で委員会として活動が始まります。RI標準委員会の一つで、当地区では今までに無かったものですが、今後の地区、クラブ運営に非常に大切になるとのことで、作られたのだとお聞きしました。委員長佐藤パストガバナーや高橋ガバナーより直接協力を求められています。皆様にもお知り置きお願いいたします。

当クラブの会長方針並びにクラブテーマにつきましては後日、理事役員会にお諮りして、発表させていただきますのでよろしくお願いいたします。

つたない発表ではございましたが、よろしくお願いいたします。



国際ロータリー 2023-24 年度テーマ
世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー



RI会長エレクトからのメッセージ: 国際ロータリー HP記事より

RI会長エレクトが2023-24年度会長テーマを発表

記事 Eteka Lehoczy

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ(スコットランド)の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による侵襲を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ2021-22年度会長が立ち上げた「女児のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年5,000万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」

ゴードン R. マッキナリー RI 会長 プロフィール

ダンディ大学を卒業(口腔外科)し、エディンバラで歯科医院を開業。英国小児歯科学協会の元会長のほか、学術分野で数々の役割を兼任。長老派教会の元長老、クイーンズフェリー教区元理事長、教会総会役員。
1984年にロータリークラブに入会。グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー(RIBI)の会長と副会長、国際ロータリーの理事と各委員会の委員長を歴任。現在12022年ヒューストン国際大会委員会のアドバイザーおよび運営審査委員会の副委員長。妻のヘザーさんとともにメジャードナーおよびベネファクターとしてロータリー財団を支援し、造園家の会の会員でもあります。



左から 米山 忠俊 ご夫妻 ゴードン R. マッキナリー ご夫妻



2023-24年度 地区運営方針

「ロータリーの心で友情を深めよう」

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナーエレクト
米山 俊俊 (三条北RC)



ゴードンRI会長エレクトは、国際協議会での講演で、2023-24年度のテーマを発表されました。
「世界に希望を生み出そう」 Create Hope in the World
この長く続くコロナ禍において、ロータリーが世界に変化をもたらし、ロータリーが世界に希望を取り戻すことが求められています。

「希望は、夢を実現したいと強く願う人たちの夢、想像力、そして勇気の中にあります。」
これは、RI会長エレクトが講演で引用した言葉で、ポリオワクチン開発者のジョナス・ソーク博士の言葉です。

第2560地区でも、このテーマとともに、クラブや委員会の活動が活発化し、地区のすべてのロータリアンが、心に希望を持って活動して頂けますようお願いいたします。

まず、第一に私が皆様にお伝えしたいことは、あらゆるロータリー活動の主役は、一つひとつのクラブであり、一人ひとりのロータリアンである、ということです。私たち地区の役割は、活動をサポートする。それだけに過ぎません。一人ひとりのロータリアンが奉仕の理想で活動を行い、それを楽しむことができたなら、こんなに素晴らしいことはないでしょう。

そこで私は、23-24年度の地区テーマを「ロータリーの心で友情を深めよう」にいたしました。楽しくない、友情も育まれないようなクラブに入りたいと思う人はいるでしょうか。自分自身が楽しいことが、地域の、ひいては世界の希望を生み出す種になる。ぜひ、そのような気持ちで、活動に取り組んでほしいと思います。

また、様々なニュースが飛び込む中、特に注力しなければいけないトピックがDEIです。会員増強のためだけではなく、2560地区をオープンな組織にするためにも、このDEIの促進を徹底することが必要です。特にRACや女性会員の増強に力を入れていければ、と考えています。人の内面や外面、つまり価値観、文化、宗教、性格、経験、性的指向、性自認、人種、民族、国籍、言語、性別、年齢、障がい、健康、家族、社会的地位、学歴、職歴等のあらゆる違いすべてを公平に包括的に扱うこと。これが、とても重要です。

さらに、モラルの低下も、私が課題に入りたいことの一つであります。一人ひとりのロータリアンで構成されているクラブ、地区ですから、一人ひとりが自分はロータリアンであるという社会的責任の重大さをもう一度確認して頂きたいと思えます。

最後になりましたが、RI会長エレクトの講演で私が一番心に残った言葉をご紹介します。それは、継続が重要、ということです。

今までの我々の活動、お歴々のバスターガバナーや高橋ガバナーの下で行って来たすべてのことが十分に素晴らしい活動だったのです。私のこれからの活動は、それを少しずつ前進させ、継続させていくこと、そして次の世代に繋げていくことでしょうか。何も、新しいことを0から始める必要はありません。今まで築いてきた素晴らしい土壌の上に、皆さんのお力で、ロータリーの華を咲かせましょう。

数値目標

- ①新規会員入会数：各クラブ10%増
- ②女性会員：各クラブ会員の20%以上
- ③ロータリー財団寄付：年次基金150ドル/会員
- ④ロータリー財団寄付ベネファクター：10名以上
- ⑤ポリオプラス寄付：30ドル/会員
- ⑥米山記念奨学金寄付：20,000円/会員(普通特別寄付合計)

上記が具体的な数値目標です。特に①、②においては、このご時世において、厳し数字であるとは自覚していますが、強気の姿勢としてこの数字を提示させて頂きました。①の新規会員数の増強に関しては、会員増強・戦略計画・広報公共イメージ向上委員会指導の下、根気強く活動を展開してはいると思っております。会員増強というのは、今年頑張った結果として数字が出てくる、ということではありません。今年頑張った結果として数字が出てくる、ということもありません。どうか目先の数字だけを見て落胆せず、中長期的な目で将来を見据えた活動をお願いいたします。時には、委員会の垣根を越えて協力して頂くことも重要だと思っております。手に手をとってロータリーの友情の輪を広げていきましょう。②の女性会員の増強に関しては、国際協議会で知り合った各国の女性ガバナーエレクトの多さと、日本国に一人も女性のガバナーエレクトがいないことに、ショックを受けたことに端を発した目標です。J.ジョーンズRI会長のおっしゃる「女性会長ではなく、一人のロータリアンとして会長を務める。」という考え方は、男女同数程度のロータリアンがいてこそ、あてはまる言葉ですので、我が地区でも同数までとは言わずとも20%以上を目標にDEIの促進を徹底して頂きたいと思っております。

以上が私の23-24年度地区運営方針そして数値目標です。皆様、ご理解ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

米山俊俊ガバナーエレクト 略歴

<p>所属 三条北ロータリークラブ 生年月日 1944年4月22日 現職 米山建設株式会社 顧問 ロータリー歴 1986年12月2日 三条北ロータリークラブ入会 1984-85 クラブ幹事 1987-88 クラブ会長 2003-04 地区会員増強委員長 2006-07 地区副幹事(クラブ奉仕・地区拡大担当) 2008-09 地区監査委員 2009-10 第4分区分アシスタントガバナー 2005年7月創立 三条東ロータリークラブ 特別代表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポールハリスフェロー ⑤ ・ポールハリスソサエティー ・米山助労法人 米山建設(株) ・米山の啓生 ⑤ ・夏期交換学生受け入れ派遣 ・米山奨学生カウンセラー <p>個人表彰 ・ガバナー賞 会員増強表彰 ・ガバナー賞 永年出席100%ロータリアン表彰30回</p>
--	---



4月の行事予定



三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ◆三条南RC 休会 (記帳できます)	4 ◆三条北RC 社会奉仕事業 「まちやま植樹」 (記帳できます)	5 ◆三条RC 「会員卓話」 重山直明 会員	6 ◆三条東RC 「会員卓話」 菅家敏彦 会員	7	8
9	10 ◆三条南RC 「夜例会」 (記帳できます)	11 ◆三条北RC 「外部卓話」 日本唯一の酒蔵DJ 立石勇生 様	12 ◆三条RC 「職場例会」 於 (株)ハイサーブ ウエノ様	13 ◆三条東RC 11(火)～12(水) 「浦安鉄鋼団地視察・ 東京RCメイクアップ」 (記帳できます)	14	15 第4分区 IM (岩室)
16	17 ◆三条南RC 「新会員卓話」 藤田寛嗣 会員	18 ◆三条北RC 「夜例会」 (記帳できます)	19 ◆三条RC 「IM報告」 西山徳芳 会長	20 ◆三条東RC 「IM報告」	21	22
23/30	24 ◆三条南RC 「新会員卓話」 榎本剛彦 会員	25 ◆三条北RC 「IM報告」 松山浩仁 会長	26 ◆三条RC 「外部卓話」 三条商業高等学校 校長 徳永和教 様	27 ◆三条東RC 「外部卓話」 助産師 中村正子 様	28	29 昭和の日

※ 近隣RC例会変更のお知らせ! (記帳できます)

- 分水RC 4月 4日(火)移動例会
- 分水RC 11日(火)移動例会
- 分水RC 18日(火)移動例会
- 加茂RC 20日(木)夜例会

記帳場所

- 新潟大栄信用組合本店(11～14時)
- 新潟大栄信用組合本店(11～14時)
- 新潟大栄信用組合本店(11～14時)
- 加茂市産業センター

次週例会 4月5日 「会員卓話」 重山直明 会員

次々週例会 4月12日 「職場例会」
於 (株)ハイサーブウエノ様

